’15 のべおか
第九

のべおか第九だより（第531号）
2015年11月7日 (土)

○発行　のべおか「第九」を歌う会
○事務局（延岡総合文化センター内）
〒882-0852 延岡市東浜砂町611-2
電話 (0982)22-1855
ホームページ http://www.**dai-9.info**

---- 出席カードには会員番号を。練習中のケイタイ着信音はオフに。----

本日の内容
- ■ 合唱幻想曲　■ 聖夜
  第九
- ■ A (237～330小節) p.9～18
- ■ B (411～654小節) p.21～35
- ■ C (655～762小節) p.35～47
- ■ D (795～920小節) p.50～63

12月19日まであと**42**日

前回の状況	会員数	出席数	出席率	自己採点
♦ ソプラノ	33 人	29 人	87.9%	59.5 点
♥ アルト	65 人	54 人	83.1%	72.4 点
♣ テノール	25 人	17 人	68.0%	72.5 点
♠ バス	27 人	17 人	63.0%	68.2 点
● 合計	150 人	117 人	78.0%	68.1 点

♫三ツ橋先生の“エネルギッシュで詳しぃ～い”指導…

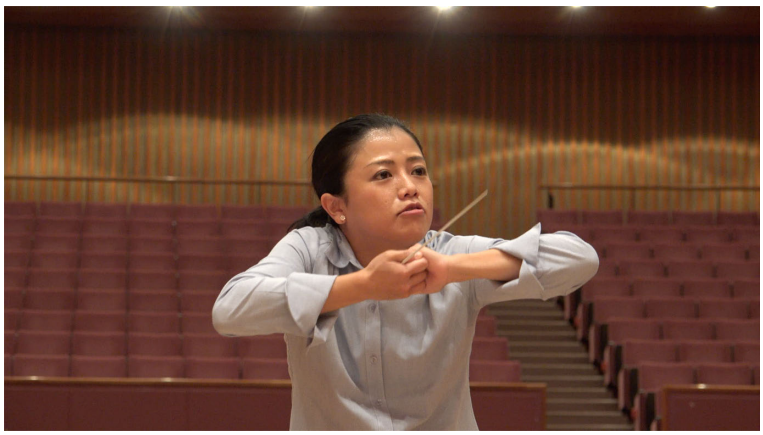
【指導の量は歴代最高…】

@「第九」編

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話
（ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!）

★ 【お話し】みなさんこんばんは。私は今日、はじめて宮崎県に来まして本当に皆様とご一緒できるのを楽しみにしておりました。いよいよ来月本番ですけれども、よろしくお願いいたします。
……(ひととおり歌って)ありがとうございます。とても皆さんたくさん練習されて、しっかり体に入っているのがわかります。ありがとうございます。何か所かやりたいところがあります…

● 257 【Dei-ne Zau-ber〜】 フレーズの流れは非常に大事なんですけれども、だんだん曲の終わりにいくと焦っちゃうような感じが少しあると勿体ないんですよね。是非、音がホールの向こうまで届いたと聞きながら感じながら歌ってください。(先程歌った)543小節からの歌詞と一緒です。どこが大事かという所も一緒です。“Brü-der,”(262)のところしっかり歌ってください。
……そうそう、凄くいいじゃないですか! 男性凄くいいですね、お元気ですね。



○ 260 【streng ge-teilt; al-】 …もう一つ大事な言葉、“streng ge-teilt;”(260)。言葉に強さがなくなると表現が甘くなっちゃうのでしっかりはっきり“streng”。
……ちょっと急いじゃった!? もう一回やりますよ。急がない! 急がない!
……素晴らしい、いいじゃないですか。急いじゃうと、声が良い音になる前に次の音に行かなきゃいけなくなっちゃって非常にもったいないですね。だから出来るだけエネルギーを効率的に使うように。声って空気の振動で伝わっちゃうじゃないですか。それを少し感じるようにしましょう。空気を振動させて、それが回っているというのをなんとなくイメージしながら歌ってください。歌っているここだけではなくて、先のことがイメージできるようになるとさらにいいと思います。

● 285 【wer auch nur〜】 ここの場面では大事な言葉が2つあります。“nie”(289)英語で言う“never”ですけれども、そこ強くsfなってますよね。しっかり出すようにします。それと“wei-nend”(291)、“泣く”という言葉。そこから皆さん小さくpなってるじゃないですか。ちょっとだけ感情を入れて歌ってください。
……いいですね、皆さん素晴らしい。声の色がたくさん出てくる! そこで贅沢を一つ、“Ja,”と“wer”(285)、これをちょっと分けたいんです。なぜかと言うと、それまでソリストの人たちが歌っていたことを“そうだ、そうだ…”と皆さんが出て欲しいんです。“Ja,”と“wer”を少しだけ区切ってください。

● 313 【Küs-se gab sie〜】 忙しく動いているソプラノとテノールの皆さんですけれど、4分音符で歌っている方たちと同じフレーズの形にしたいので、一つずつ“Küs”,“se”,“gap”,“sie”…とならずに、できるだけ横の流れを気にしてみましょう。

○ 316 【prüft im Tod; Wol-】 “Wol-”に入るところ、ちょっと遅いですね。そこもうちょっとアタックを付けるようなつもりでしっかり入りましょう。

○ 319 【und der Che-rub】 ここも強調する音sf付いてますね。“Che-rub”。ここを忘れている方いらっしゃる。気をつけましょう。

● 321 【und der〜】 ここ急いじゃう感じなんですが、できるだけ一つ一つ丁寧にいきましょう。
……今、一つ一つ丁寧にと言ったせいで一個ずつ切れているんですが、文章はずっと続いているので、ちょっと納豆が糸ひくみたいに一個一個糸ひいてあげてください。

……いいじゃないですか、いいじゃないですか。今の音の意味、非常に大事…ちょっと糸ひいている感じ。

○ 326 【Gott,】 皆さんにお願いしておかないと…私、この“vor Gott,”、凄い長いです。凄い長いです(笑)。だから覚悟して息を吸ってください。できるだけホールが皆さんの声で全体が揺れるような場面にしたいと思います。しっかりください。
……今、気になったのは皆さん声をたくさん出そうとすると体がだんだん固まってきている!? …声と出しながら体の軸がブレないように動いてみてください。体幹はブレないように動かしながら歌ってください。
……声を動かさないで、体を動かす。体が硬いと声もこぅなっちゃう。体が柔らかいと、うまく振動を使って空気全体に音が伝わっていくことができます。
……出てきたじゃないですか。これです、これです! できるだけffのときには体を固めないように。始める前に柔軟するの、とてもいいと思います。
……最後の“…tt,”もうちょっと欲しいです。

● 411 【Lau-fet,〜】 …(ひととおり歌って)真面目な方が多いんでしょうね(笑)。凄く生真面目に歌ってくださったようなのですけど、ちょっと一杯ひっかけたような感じでやってほしいんですよ(笑)…出来上がり寸前ぐらいでいいです。“Lau-fet. Bru-der,…”をもっともっと陽気に、肩組んでやっていこうじゃねぇかぁ…って感じでいきたいんですね。で、大事なのは“freu-dig,”(テノール:425,426)(バス:424,426)にsf付いてますけれども、そこのところの音の弾みがなくならないようにしてください。それから“Held”(428)という言葉が出てきますね。これは“Hero”みたいな言葉ですので、そこはっきり目に歌ってください。

……一杯ひっかけるんですけど、陽気なほうで。いいですね、イメージが盛り上がって。でも顔が恐い人が…もっともっと音が弾むようなものが見えない!? しっかり発音すると子音の力で音を弾ませることができます。

● 543 【Freu-de,〜】 ここをやりたいから「第九」やっているという一番いい所ですね。いろいろ言葉のことだったり音形のことだったり毎回の練習で気にされていることがたくさんあると思うんですけど、今大っきい声、声量を出したときに大きい音でもいろんな大きい音があるというのをちょっとやってみたいんです。今、頭の音だけ“アー”と出します。すごく明るく輝かしいフォルテ、“アー”とください。…明るい声出すときにココ下がっていちゃダメですよ。皆さんしっかりココを上げてください。…顔が恐い、みなさん真面目すぎる。…(笑)いいじゃないですかその顔で上げてください。

……それでは同じ強さで次は、力強さ憎しみをこめたような…おひとりおひとりの声の表情も大切ですけれども、バランスとして男性の支えがしっかりしてくると重たい音になります。…下のほうだけを意識すると女性のほうは音程が下がりがちなんです。低い方を意識すると同時に上もあげるようにしましょう

……優しく小さな音でいきましょうか、柔らかく。アルトの方たちがんばりましょう。…柔らかい音で少しなぜつけるように膨らませて戻ってきてください。柔らかい丸いものの表面をなぜるようなことをイメージしてください。…ピアノの音を弾いてもらったときに皆さんはしっかり音をイメージされると思うんですけれども、毎回その音程を下から取りにいくんじゃなくて、上からとってあげるイメージをつけてください。それでは楽譜に戻ります。“Freu-de,”爆発するような歓びですよね。これを是非、皆さんの“F…”という子音とさっきの輝かしい音の声色で出してください。私たちが声というか歌にできる一番魅力的なことって言葉があることだと思うんです。皆さんがお客様に一つ一つドイツ語で全部がしっかり分かるわけではないかもしれない。でも聞いているお客様が今何のことを歌っているというのがなんとなく伝わるような表情だったり色だったりというのを是非つけてほしいんです。きっとそれ皆さんだったらできると思うんです。是非それで素敵な時間を作っていただきたいと思うんです。

……ちょっと楽譜を見てみましょう。いくつか強いマークが付いていますね。“E-ly--si-um,”(549)、“feu-er-trun-ken,”(553)、“Hei-lig-tum!”(557)、ここ強調したい言葉なんです。少しはっきり出しましょう。それから今は縦割りな感じで音符が一個一個出ちゃってるんですけれども“Freude, schöner Götter-funken, Tochter aus Elysium, …”と、大っきーい…一人一人が繋がっているという大きい輪になるつもりで歌ってください。左の端っこの方が右の端っこの方の声を想像できるとお互い良いんです。お一人お一人が前に向かって歌うだけじゃなくて横の繋がりをもう少し意識しましょう。

……すばらしい、すばらしい。皆さんいいじゃないですか。皆さん表情が生き生きしてきている、とても素敵です。絶対そのほうが良い声が出ます。ひとつだけ約束してください。“al---le Men-schen”って、“皆ぃーんな”というのを感じたいので(弾むように歌うのではなく)繋げて歌ってください。それから“Brü-der,”(570,586)これは“兄弟”とても大事な言葉です、2回とも。おそらくこれは何度も出てきます…。これは必ずはっきり。「みんなが“兄弟”になる」ここは伝わるように是非…。

○ 543 【Freu-de,】 “Freu-”、お“フロ”じゃないですよ。“Freu-”、“Freu-”。しっかり、しっかり。大丈夫ですか?! 明日頬が筋肉痛になるぐらい動かしてもらいますね。

● 595 【Seid um-〜】 頭の音、オーケストラの音を聞いて、イメージもう少し強く持ちましょう。…女性のみなさんも男性のみなさんも“Seid um-schlun-gen,”って“抱きしめられる”という意味なんですね。だから出来るだけ光景が浮かぶように。できるだけレガートで横の流れをしっかり作るようにしましょう。

○ 596 【schlun-gen, Mil】 待った!? “Mil-li-o-nen!”大丈夫ですか?? どこまで“-li-”伸ばすか…。長い音を伸ばしているときに音楽の行き先がわからなくなっちゃうと音程もブレやすくなってとっても勿体ないので、どこまで行くのかというイメージをできるだけ持つようにしましょう。女性のみなさんも速いときも遅いときもどっちもですけど、音楽がどこまで行くのかというちょっと先を見るように。運転されるときと同じですね。少し前のほうをイメージして、しっかりどこまで行くのかというのを確実にするようにすると音程も音楽も安定してくると思います。
……(2度目:“Mil-li-o-nen!”を誰かが早めに出たことに)Mil-li-o-nen!”のところ、気をつけましょうね。そして音程も“Seid”を狙ってくれたときと同じように気持ちイメージ強くしましょう。

○ 602 【Welt!】 男性の方、“Welt!”は本当は小節いっぱい伸ばすんですけれども、そこを伸ばしちゃうと次の女性の“Seid”と重なっちゃったときに音響的に聞こえづらくなってしまうので、私、先に切ります。ちゃんと切るので一緒に切れてください。

♡ 606 【o-nen! Die】 アルトの皆さん、“Die-”って入るところ、待ちきれなくて入っちゃってる方がおられるんですけど、しっかりタイミング。

○ 617 【Va-ter】 ここも強いマークsf付いてます。ここもしっかり、子音を強く出すようにしてください。声のパンチ力ではなくて、子音を出すことによってスピードを出して強さを作るようにしましょう。

● 619 【Brü-der!】 もっともっと横を一本の線で繋ぐようなイメージにしてください。
……息を吸ったときに、もう少し時間が開きすぎないようにしましょう。息を吸ったことによってテンポが少し遅くなられる方が多くいらっしゃる。息を吸うのも音楽のうちだと思ってください。どういう吸い方をするかというのは、毎回、曲のスピードがあったり、雰囲気だったり…併せてうまく呼吸が採れるようになってください。さらに表現の幅が広がります。
……ここはテンポをしっかりキープすることが難しいところです。オーケストラと合わせるところが一番難しいところなんですけれども、今みたいに横の流れを一本の線で作るんですが、みなさんのそれぞれのタイミングのところは是非パートの中で、そしてこの横の流れの中でしっかりかっちり合わせるようにしましょう。ここは大変大事な場面です。それをしっかり頭に入れておいてください。

● 631 【Ihr_ stürzt〜】 よく言われてるかもしれないけど、“I”とか“ü”とかいう口を閉じる発音のパターンのときにどうしても口の中もどうしても狭くしちゃうんですけど、口の中は“ア”を言うときと同じ形

です。ちょっと“ア”で頭の音を出してください。先ほどやった柔らかい音でいきましょう。そして口だけ小さく“I”。
……女性の皆さんも…できるだけ柔らかい音です。
……たくさん気にすることあるんですけども、口の形、中の形、それから音の質、どんな触り心地の音だったか、大きさ…。
○ 631 【Ihr_ stürzt】 惜しい、惜しい!? cresc.したときに押し込んじゃうと音程も下がっちゃうんでちょっと勿体ない。フワーッって広げる感じ。

● 632 【nie-der,〜】 よく見ていただくと、“nie-der,”は一つずつ点が付いてるんですよね。これも納豆の糸引き戦法で切るんだけども切るんだけども切れてない感じにしてください。この後の“o-nen?”(634)の所もです。

● 634 【o-nen?〜】 ここには“…?”が付いています。それの疑問符に向けてのcresc.が付いて(635)いる。聞いている感じを音楽に出したいからcresc.が付いてる。ただただ押していくんじゃなくて、疑問符のつもりでcresc.していってください。

○ 635 【Ah-nest】 あ、早い早い早い!?!?!?。絶対私が降りるまで待っておいてください。ギリギリまで私、焦らしますけど。焦れててください“…Ah-…”って入ってください。

◇ 650 【ü--ber】 出してしまってから…あれ?あれ?? ってのはナシです。はじめにしっかり狙っておく、でもコレ本当に変わりますから。ちゃんと音を出す前のイメージの力って70%以上ありますから。
♡ 650 【ü--ber】 しっかり狙ってください。
……今の7割ぐらい。…アルトさんだけですよね???
● 650 【〜】 ここだいたい皆さん、いつもすごい緊張されているのが顔に出てる!?(笑)。でもだいたい皆さんの顔を見てると、うまくいくかどうかなんとなく想像ついちゃうんです(笑)。というのは種あかしをすると不安になって暗い感じになっている時って音程もやっぱりね、落ちちゃうんですよ。しっかり上げてってください。今まで散々練習されてると思うんですけれども、緊張されて待ってるんではなくて、オーケストラの音に乗っかるようなイメージで、その歌わない間はお休みとか準備とかではなくてしっかり一緒に音楽の流れに身を任せていってください。そうしないとどうしてもそこで途切れちゃうんですよね、長い間だと緊張するから…だけどそうではなくて一緒に乗っかるようなつもりで、休符の間にしっかりイメージしていってください。
○ 650 【】 全員、頭の入る音だけ…“アー”で、mfぐらいの大きめで。…女性、頬を上げて、上げて。凄く楽しげな音を出してください。
……そのまま音量をちょっとずつ落としていきます。今のまま出すんですけど、ベールをかけていきます、後ろには引かないでそのまま…どうしても小さくなると、音が下がりがちになる…当然なんですけど。それを是非、上から狙う。今の皆さん、喉を締め付けてて、それで下がっちゃうんですよね!? それをできるだけ頭の上から体の力抜くのを忘れないように。

♧ 651 【ü--ber】 もうちょっと出る前に狙って音程を確認して。
……音量を減らして…良くなっています。
♤ 651 【ü--ber】 下から合わせるように音を狙わないように。ちゃんと上から。

♧ 652 【Ster--nen】 声域的にギリギリのところだと思うんです、ド#。さきほどの女性と一緒で、上からちゃんと狙ってあげるように。
……ちょっと低くなっている!? もうちょっと上から掴みましょう。

● 653 【muß er〜】 だんだんこぅ↓!? 途中で安心しないでください。最後の最後が大事です。“…woh-----nen,”まで行けるように。最後まで糸が切れないようにしましょう。
……(休憩を挟んで)あと一歩ですね。最後のところ下がらないようにということ、さっきよりは随分良くなっていますが、本番までの皆さんの宿題にしておきましょう。

♦ 655 【Freu-de, schö-ner〜】 もっと子音を言ってください。全部はっきり。…2小節に1回、山を作るような…これ皆さん共通です。
……山、降りるの速すぎる!?(笑)。すべり台みたいに降ろしてこないで。…今のだと下りが急なんですよ。ゆっくり登った分、もう少し均等に。
♥ 655 【Seid_ um--〜】 それぞれの言葉の合間で切れないように。もっともっと太い糸で繋いでください。

● 655 【〜】 それぞれ追いかけっこするところですが、もちろん“Freu-de, schö-ner Göt-ter-fun-ken,”というメロディはそれぞれ大事なんですが、私は一番出して欲しいのが“Seid_ um--schlun-gen, Mil--li--o-nen!”となって歌ってる皆さんを見ていますので、その皆さんたちが主役だと思ってしっかり出すようにしてください。いまそれぞれ順番に見ていきます。皆さんで今主役だなというのがお分かりになると思います。その時に今日は練習と覚えるために手を上げてください。その主役を歌っているときだけ手を上げてください。今日、それぞれ覚えてもらいます。体に入れてください。…初めはアルト。
……だんだん混乱が起こってきた!?(笑)。“Seid_ um--schlun-gen, …”という言葉は何回か出てきているんですけれども、メロディーが主役じゃないメロディーのとき手を挙げるんではないんです。“Seid_ um--schlun-gen, Mil--li--o-nen!”というメロディのときに手を挙げるんです。これ何の意味があるのかというと、Iこれ音量を立体的にしたいんです。手を挙げている皆さんが一番聞こえたいんです。ずっとfで書いてありますけれども、手を挙げている皆さんが一番客席に届くように…というバランスにします。今日中に体に入れましょう。
……そのほかのパートの皆さん、主役以外の特徴をお話すると“Freu-de, schö-ner …”って歌っている皆さんは、できるだけそのメロディを華やかに歌ってリズムしっかり出してください。それに対して“Seid_ um--schlun-gen, …”という皆さんはできるだけ横のつながりを無くさないように歌ってください。そのあと“Freu-de!”とかリズムで出てくるパターンの人たちは、しっかりはっきりアクセントの付く…はっきり目にリズムを喋る。歌うというよりは、はっきり喋る。…この3種類です。

……“Freu-de, schö-ner …”って2回目、3回目となっていったときにどんどん盛り上がっていきたいんですけど、1回目がピークになってる!? 勿体ない。
……もっと特徴を書き分けたいんですよ。だんだん色が混じってしまうんじゃなくて、常に違う要素がどれもどれも魅力的に聞こえるようにしたい。“Seid_ um--schlun-gen, …”は寄っていってしまう!? “Freu-de, schö-ner …”はいいんです。もっと華やかに はっきり喋ったほうがいいと思います。“Seid_ um--schlun-gen, …”は出来るだけ長いフレーズにしましょう。“Freu-de!”とか入ってくる人ももっと頭をしっかり!。“Freu-de! … Freu-de!”しっかり入れましょう。そしてそうでない皆さん、たくさん音がありますので、常に同じ大きさ同じテンションで歌うとやはり立体的にならないわけなんです。織地が重なるように表になったり裏になったり出来るだけ変幻自在にできるように。今どこだっけ? というのをもう少し具体的にやっていきましょう。
……私、「凄くいいですね」ってあんまり言わないんです。さっき言った「凄くいいですね」はとっても良かったです。「近い」というのはかなりいいんです(笑)。

♣ 662 【Seid_〜】 これ凄い高いんですよ。ドミンゴっているじゃないですか。ドが出なくてシミンゴって言われる(笑)。ここは(歌う前から)凄くゆっくり(音を)狙ってください。
……男性はしっかり声が出るので、声がどうしても切れがちなんですけれども、できるだけ繋げて。

♠ 663 【Freu-de, schö- ner〜】 …次、“Seid”(670)に入るから忙しいんですけど、最後まで意地でも歌ってください。もっとはっきり喋れます?

♣ 701 【Seid-um--〜】 ここは手を挙げる(主役となるところ)ではないです。そのあと…(708小節から)。

♦ 718 【Welt!_〜】 ずっと伸ばしてる高い音…押していっちゃうと、だんだん喉が狭まって音程が取れづらくなってしまうんで、さっきの“Gott,”(326)でやったときのように力抜くのを忘れないでください。だんだん絶対に盛り上がるので、最後は力で押さないで絶対に大丈夫です。よく聞こえてますから無理しないで、できるだけ良い空気の流れを使うようにしてください。

♠ 719 【Seid_〜】 最後のバスの皆さんは良いところをしっかり持ってってくださいね。一番最後の“Sei-d_ um--schlun-gen, …”お願いしますね。

♠ 730 【Ihr stürzt〜】 …まずバスの人、もうちょっと“stürzt”を。“nie-”の“…e-”をちゃんと音に当てるようにしましょう。
● 730 【Ihr stürzt〜】 先程一回通したときに気になったのは、ここはとても難しいんです。間にたくさん休符があるので言葉が繋がって聞こえづらいところなんですけれども、出来るだけ休符の間も気持ちの緊張が途切れないようにうまく繋げてください。それともう一つのポイント、それぞれのパートがだいたい同じ音量で終わったのと(次のパートの)始まりが同じ音のレベルで来れるととても綺麗に繋がり

ます。繋がり目のところを出来るだけうまく繋げられるように今練習したいと思います。…まずバスの人、もうちょっと“stürzt”を。“nie-”の“…e-”をちゃんと音に当てるようにしましょう。
……歌いました…お休み…入る…じゃなくて、ちょっとずつ迫ってくるような休符のイメージだといいです。繋がる感じ。
……ここは怪しげな雰囲気が欲しいんです。

♤ 733 【o--nen?】 “-nen?”のところ、早口になっちゃう、繋がらなくなっちゃうんで丁寧に歌ってください。

♧ 734 【Ah--nest】 “Ah-”に入るところ、バスの“Mil--li-o--nen?”の終わりまで丁寧に聞いてあげて“Ah--nest”に入るようにしましょう。

♧ 737 【Welt?】 “Welt?”と“Such' …”は音が繋がっているので、“Welt?”は早く切りすぎない。

♡ 738 【Such' ihn】 できるだけ女性の深い声を出せるように。…繋げるために子音をちょっとだけ前に出すのがコツです。ちょっとだけ“S…”という振動を用意しておいて“Such'”と入ってください。

○ 753 【zelt muß_】 小ちゃくなって“muß_”に入るところ、ここ丁寧に入ります。突っ込まないようにしてください。

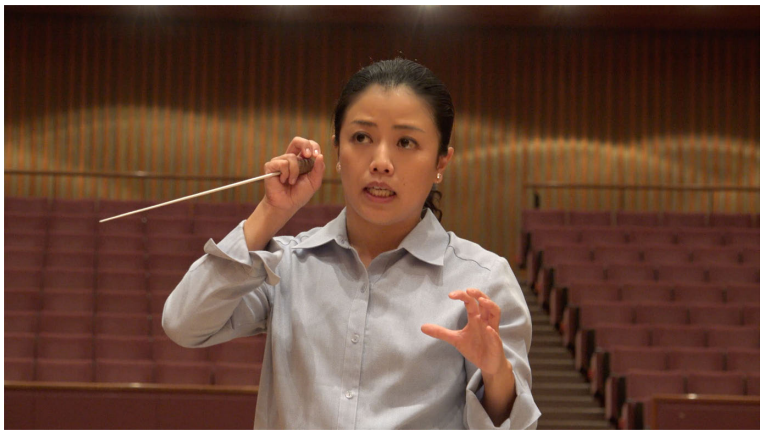
● 758 【ein_〜】 “…n_”のときにデリケートな音を作っちゃいます。“…n_”に“lie-”付けるような感じ。
○ 758 【ein_】 ちょっと膨らますのを使ってテンポも少し遅くなりますので、そのままのテンポで行かないように。

♡ 761 【woh-】 小ちゃくなってきた時にブラ下がらないように気をつけましょう。

◇ 762 【-nen.】 最後のところの音ですけれども、今のだとソプラノさんちょっと全体のバランスの中で小さく聞こえちゃうんで、そこまでdim.しなくて大丈夫です。もうちょっと大きくても大丈夫だと思います。

● 795 【Dei-ne Zauber,〜】 初めちっちゃく入るんですけど、“Dei-ne”の“D…”の音、ちゃんとはっきり
……これ日本語だと難しいんですけど、子音を大きくするんです。子音は大きな声の時も小さな声の時も大きいままなんです。“a”とか“o”とかいう母音の部分はもっとちっちゃくしたいんです。分かりやすくすると、内緒話するときをイメージしてください。普通に大きい声で喋ってるときよりも子音を立てるじゃないですか。このイメージを持って欲しいんです。
……そう、子音の初めのところはとても良くなったんです。…終わりのほうももう気持ち…言葉の終わりのほうの子音ももうちょっと立てるように気をつけてみましょう。

○ 801 【was die Mo-de】 いきなり“was die…”って大きくならないでください。ここに繋がるまで大きくしてください。 (795から) cresc. “Dei-ne Zauber, dei-ne Zauber …”同じ言葉を繰り返すことで大きくして。…ここでこう↑なっちゃうんですけど、勿体ないです。
……いいです。いいです。さらに効果的なやり方としては(795から)2次曲線状に大きくしてください。



● 806 【Al--le〜】 …ひとつだけ宿題を。(ここばかりでなく)“Al--le Men-schen”って、“…l--l…”エルが2つあるんですよ。“ア--ッレ メン シェン”これ出来るようになるとさらに素晴らしい。是非これも宿題にします。だんだん速くなってくると“アーレ メン シェン”って感じになってしまう。
○ 806 【Al--le】 “A…”の音ですけれども、もう気持ちしっかり当て強めにはっきり入るようにしましょう。

○ 810 【Men-schen wer-den】 ゆっくりになりますね。今ちょっと盛り上がってくださってるんですけれども、それも気持ち控えめにしましょう。控えめにします…なんですが、ゆっくりになった時こそ、大きくフレーズを捉えるようにしてください。1個ずつ言葉で切れちゃわないように気をつけましょう。

○ 813 【Flü-gel weilt._】 最後の“weilt._”(814)揃えましょう。指揮でちゃんと切る、一緒に切れましょう。

○ 818 【Dei-ne Zau-ber,】 2回目の“Dei-ne Zau-ber,”のほうが 距離が短いので、cresc.するスピードを上げないと間に合わないうちに“was die Mo-de …”(822)に入っちゃうんです。ここ、気持ち盛り上げかたを計算したほうがいいかな…という気がしました。

○ 832 【Men-schen!】 最後のゆっくりになったところ、“…n!”までしっかり言い切ってください。

○ 855 【Seid um-schlungen,】 全体的にはっきり喋るようにしてみてください。速いところいきますけれども、はっきり目に喋りましょう。

● 860 【gan-zen Welt!_〜】 一番始めの入ったところ早口のところですけど、皆さんよく喋れてると思います。とてもいいと思います。なんですけれども、長く伸びているパターンの所にきます。“Welt!…”って伸びてますよね。その時にいい声が出ているかどうか、体の状態がいいかどうかというのを忘れないようにしてください。たくさん喋るときは喋るほうに集中して欲しいんです。歌うというよりは喋る。でも音が伸びているときは、声をしっかり楽にしっかり響かせるという意識がなくならないようにしてください。

● 880 【Die-sen〜】 “Die-sen Kuß der gan-zen Welt!”この言葉の固まりは忘れないでください。それぞれ“…Welt!”まで行くフレーズの切れ目のところは毎回私は息を一緒に吸うようにしているので、皆さんも区切りをそこで付けるようにしてください。

● 916 【-ter aus E-〜】 “Toch---ter aus E-ly-si-um,”の最後の“E-ly-si-um,”ですけれども、えもいわれぬ美しいものを想像させるような声が欲しいです。小さくなるのも勿論なんですけれども、できるだけ本当に至上最高の楽園を皆さんの声で作ってください。それには“Toch---ter”に入るところの強さと対比させる必要があります。なので“T…”の音をしっかり当てて子音まで喋って出してください。Toch---ter aus”までちゃんと大きいままいて“E-ly-si-um,”を凄く丁寧に歌うようにしてください。

……今、“E-ly-si-um,”はとってもいい色が付いたと思うんですけれども、タイミングをね…もっとしっかり揃えたい。皆さんが一緒に出れるようにしたい。出るのを一緒にするためには、一緒に息を吸ってください。“aus”をどうやって終わりを処理するのか、で、どうやって息を採るのかというところを皆さんで合わせるようにして…次の音“E-ly-si-um,”を作るようにしましょう。

● 917 【ly-si-um!〜】 最後のところMaestosoの2小節目、そんなに遅くしすぎません。

● 919 【Göt-ter-fun-ken! Göt-ter-〜】 2回の“G…”の音の上がった所をしっかり出す。この2回、ちゃんと歌う。

★ 920 【お話し】たくさんいろいろなことを言ってしまいましたけれども、一番大事なことは皆さんは言葉を持っているということ。それを楽譜を持っていないお客様に情景を描いてもらうためにどうやってその言葉を使うのか、表現するのか、どうやって声と一緒にしていくのかということがとても大事だと思います。これだけ人数がいらっしゃるわけですから、並びも後半変えましたけれども、このほうがお互い、より聴き合えると思います。是非周りの方が歌っている音を一緒に聴きながらみなさんで音楽を作ることをお忘れにならないように。ぜったい素晴らしい第九の時間を過ごせると信じていますので。来月お会いするときまでに宿題を忘れないように。

@「合唱幻想曲」編

その付近の注意…●総合・♦ソプラノ・♥アルト・♣テノール・♠バス
その部分の注意…○総合・◇ソプラノ・♡アルト・♧テノール・♤バス
★…お話
（ほかの部分やパートの注意でも全体に関連がありますので、読み飛ばさないように!）

●444 【Gro - ßes,〜】 第九よりも歌う所少ないですけれども、言葉の種類が多いのがこの曲の難しい所だと思います。よく覚えてらっしゃってとてもいいと思いますが、全体的にもう少し横…レガートに繋いで歌ってください。出来るだーけ細かぁーく続ける。そして今、わざわざ皆さんが歌わない所も

ピアノを弾いてもらったんですけれど、これ意外とお休みのあとに入るタイミングって難しかったりするんです。というのは、どうしてもちょっと乗り遅れちゃう傾向にあるので、今弾いてもらったところも、出来るだけ聞いているテンポで歌に入れるように、これを毎回気をつけるようにしてください。

……はっきり、はっきり。音の間のところ、もっともっと繋がりますか? 子音と子音をもっとくっ付けるように。

……もう少し4小節でひとつのフレーズという意識を持ってください。メロディーで言うと“Gro - ßes, das ins Herz ge - drun - gen, blüht dann neu und schön em - por;”までそこまで行きたいんです。なんか途中で息を継いだとしてもフレーズとしてはそこまで行く…という繋がりを忘れないようにしましょう。

● 466 【See - len,〜】 小さくなる所、今もっと変化が聴きたいので前の部分はあんまり小さくならないほうがいいですよ。“ - nen”まで強く、で…“See - len,”。むしろちょっと膨らんでるぐらいの音量盛り上がってるつもりで“ - nen”を歌い切らないとSee - len,”ですぐに小さくなる、急になる感じがなくなってしまう。……急がない、急がない! 皆さん速いですよ!? 休符が短すぎる。休符と思っちゃうと休んじゃうから、最後の子音の余韻を楽しみながら次の音符に行くようにしてください。

● 471 【die〜】 “die Ga - ben schö - ner Kunst.”これも急がないように。

● 482 【Nehmt die〜】 速くなる所(490)までどんどん大きくなってるの…ご存じですか? 速くなる所までずーっと大きくなっています。

● 490 【Kunst, froh die〜】 速くなったあと、もっともっとしっかりパワフルに欲しい。ffになったところ(514)はとても良かったんです。それまでの所もずっとパワフルに歌っていただいて大丈夫です。

♧ 526 【Gunst,】 これちょっと宿題にしたいんですけれども、テノールさんの“Gunst.”の音程、これハマるといいです。ブラ下がってる感じがする!?

◇ 547 【Nehmt die】 音を狙って、狙って。
● 547 【Nehmt die〜】 ここも最後まで大きくなっていくところです。

● 596 【Gunst.〜】 いいですね、いいですね。是非横の繋がりを忘れないように。あと言葉を本番までもっともっと練習を重ねることによってきっと入ってくると思いますので、もっとはっきり喋るということ忘れないようにしましょう。
○ 596 【Gunst.】 最後、強くします。最後降りますので、皆さんも最後を盛り上げて。

@「聖夜」

● 【Si - lent night〜】 …英語いいです、とても。でも全体的に雪が深々降る雰囲気でいただけないでしょうか。ちょっとまだ今はね…紅葉が見え隠れする!?(笑)。 …寒い! なんか雪が降ってる感じのイメージでください。

……次、日本語ください。…凄い現実的すぎる!?(笑)。雪が深々と降り積もる夜を見たい。

……いいですね。季節が1か月先にいったような錯覚に陥るところが…。おそらく会場の皆さんも一緒に歌われる日本語の部分ですけれども、皆さんだけが歌われる英語の部分に関しては、今の雰囲気を忘れないように。オーケストラといいコンビネーションが出来ると思います。

★ 【お話し】みなさん、今日は長い練習を集中力を持っておつきあいくださって、ありがとうございます。来月会えるのを心から、さらに楽しみになりました。お疲れ様でした。

♦今年の第九は立体的になりそうで楽しみです。(京)
♦三ツ橋先生かっこよくてファンになりました。練習がんばります。胸いっぱいです。柳田先生に(いつもの練習中に)言われていることを言われたので直すようにします。
♦三ツ橋先生は思ったより小柄で可愛い方でした。ご指導もやさしくわかりやすく歌い始めに「♫ド～ゾッ♪」と言われる声が楽しい気持ちにしてくださいました。歌詞の丸暗記ばかり気にして歌詞の意味に気づいていないことを再確認!! がんばります!!
♦なかなか来られなくてやっと出席できました…しかし良い声が出なくて情けなかったです。次回までにはちゃんと発声してきますね。(セロ弾きのゴーシュ)
♦三ツ橋先生、指導とてもわかりやすくてもっと頑張ろうと思いました。
♦先生のパワーにすごさを感じました。先生のおっしゃってる事が立体的というか、すばらしかったです。
♦早朝から宮崎でイベント。イベントをすませて川端康成と東山魁夷そして「第九」。素晴らしい指揮のもとで歌える幸福で疲れもフッ飛びました。(m♪)
♦大変優しい指導の中に力強さを感じます。若い情熱的指導、ありがとうございました。(und Kraft)
♦三ツ橋先生、すべてがエネルギッシュで情熱的!! 先生に見とれながらご指導を受け、アッという間の短い時間でした。三ツ橋敬子先生にお会いできてとてもすばらしいひとときでした。ありがとうございました。
♦女性の指揮者(先生)は初めてということで、とても新鮮です。三ツ橋先生の若さあふれる素晴らしいご指導、ありがとうございました。(プンちゃん)
♦三ツ橋先生のご指導、楽しかったです。宿題がんばります。
♦三ツ橋先生のエネルギッシュなご指導、グイグイ引っぱっていただいて出来る気になって歌ってました。エヘッ ^_^
♦三ツ橋先生、元気いただきました。でも、やはり体力がついてゆけない。ますます寒くなるので気をつけてすごします。エーイ! どうとでもと思ったとたんに声が出たりして楽しい練習でした。本番が楽しみです。
♦三ツ橋敬子先生の指導、素晴らしかったです。(M.Yoshimoto)
♦今日は三ツ橋先生のご指導でワクワクして楽しくてとても嬉しかったです。もっと声が出て感情が入るようにしていきたいと思いました。先生!!ありがとうございます!
♥三ツ橋先生、たのしみ! ワクワク。やっぱりカワイイ、スゴイ!
♥三ツ橋先生の御指導、とてもわかり易くパワフルで声も良くて楽しかったです。本番に活かします!!(6年生)
♥感激! エネルギッシュなご指導、指揮、のべおか第九は幸せです。30年の節目。満席のお客様と感動を共有しましょう。(イマ カン)
♥パワフルで楽しいご指導、とてもわかりやすく楽しかったです。今年の第九はちょっと知合うかも。(スピカ)
♥三ツ橋先生のご指導。すばらしい元気をいただきました。おつかれさまでした。ありがとうございました。(チーママ)
♥すばらしいご指導に感動でした。

♥先生の指導、思わず乗せられました。上手ですね。本番も頑張ります。(KK)
♥あと1回練習にこれたら…がんばります。
♥感謝です。すばらしい時間をありがとうございました。本番がんばりましょう。(JuJu)
♥分かりやすい指導で楽しく練習ができました。ありがとうございました。本番まで暗譜がんばります。(キーコ)
♥指揮の先生の御指導で、たくさんのことを学ぶことができました。あと1ケ月、がんばります!!
♥三ツ橋先生のすてきな御指導、とても気持ちよく練習出来ました。“先生、すてきな出会いありがとうございました。”(ねずみバーバ)
♥パンリのきいたメリハリのきいたご指導、すばらしい。本番が楽しみです。
♥ステキな時間が過ごせてありがとうございました。本番に向けて頑張ります!
♥先生のエネルギッシュな指導に感激でした。素敵な演奏会になる予感がします。(日向キルトママ１
♥先生の指導はとても丁寧でわかりやすくて楽しかったです。
♥今日は用があり、途中で失礼します。申し訳ありません。
♥三ツ橋先生、とてもキュートなのに、とーってもパワフル!!! 私も見習って元気出さなきゃ!って気持ちにさせてもらいました。
♥三ツ橋先生、すごいです。エネルギーいただきます。
♥頑張りまーす。
♥初めての先生がきての練習でした。疲れたけど、今までよりもっと上達した気がしました。
♥三ツ橋先生からたくさんの指導をいただきました。しっかり復習。身につけて少しでも近くなれるようガンバります。(ももにゃん)
♥ハードな練習で声が疲れました。とても勉強になりました。
♥エネルギッシュな先生で皆が吸い込まれる様でした。

♥今日、大変幸福な1日でした。今夜眠れるでしょうか? 本番が楽しみですネ。
♥先生のパワフルな指導につられ、思いっきり歌いました。合唱の指導もされると伺ってましたが、声の出し方とてもわかりました。
♥三ツ橋先生のしどう、とてもすばらしく、たのしく頑張る事が出来ました。
♥三ツ橋先生のご指導はエネルギッシュでわかりやすく歌いやすかった。すばらしい本番になる様、頑張ります。ありがとうございました。(ヨッチン)
♥パワフル!!!でした!!(うたむし)
♥さっそくファンになりました。声がよく通り表情がよくわかりやすかったです。(のりちゃん)
♥パワフルなご指導、素晴らしかったです。指摘された箇所を徹底的にとり組み、客席に心の通じる「第九」頑張りたいと思います。
♥とってもすてきな三ツ橋先生。今回はありがとうございます。
♥すばらしいご指導、ありがとうございました。本番に向かって風邪をひかないように頑張ります。
♥女性の三ツ橋先生の指導に感動しました。本番頑張ります。
♥楽しかったです!! 残る日々、頑張らねばと思います。先生の言葉の美しいのにうっとりでした。
♥とても情熱的なご指導で感動しました。ありがとうございました。

♥今年も元気でたくさんの人達に支えられて歌える事に感謝でいっぱい。
♥最高に楽しかったです。“音”が見えるように変わっていくのがスゴイ!!
♥緊張し力の入った練習でした。残りの練習頑張ります。
♣三ツ橋先生すごく本番が楽しみです。
♣素晴らしい御指導、ありがとうございました。(T.Kawa)
♣久しぶりで疲れました。
♣つかれた〜♪
♣すばらしい指揮者…的確な指導に「ない力」をだしていこうと重追いました。若いのに堂々としていて気持ち良い。
♣三ツ橋先生の宿題。あと1ケ月あまりで是非仕上げたいと思います。多分良い演奏会になることでしょう。
♣三ツ橋先生はテレビで見た方と同じで、きれいなひとでした。(ねこふんじゃった)
♣三ツ橋先生にベートーベン先生の究極の世界へ誘っていただき、幸せな一夜でした。感動で胸が一杯で夢でも歌いそうです。(す)
♣三ツ橋先生、情熱的でチャーミングな先生でした。乗せられてたのしく練習できました。あらためて歌うことの楽しさ難しさを教えてもらいました。いただいたたくさんの宿題を本番までにこなせる様、がんばりましょう。
♣今日は儲嗣良かったわ。いい汗もかいたし。さあ本番に向けていくぞー。言葉を横につないで語りのようにする練習。しあげないと。(マッチャン)
♣三ツ橋先生の指導の素晴らしさに感心しました。喉の調子を整えて暗譜したいと思います。
♠まだまだです。頑張ります。
♠さすが指揮者はすごい。
♠隊員が早くなったので、無事参加できました。小ホールの響き方に慣れてしまうと本番で更にズレてしまう気がします。指揮を見る。オケを聞く。でも目線は下げない。

♠まだまだ求められるレベルいは届きませんが、具体的な指導も増えたのしくできました。
♠三ツ橋先生の指導、メリハリがあってパワフルですばらしかった。(ソルトビーチ)
♠大変つかれました。(CHU)
♠誰だ!? ここへきて“Mil-li-o-nen!”(596)を2回も間違った団員は!! 間違ったあなた、本番は“ミー”って歌ったまま“…リ…”って歌わなきゃボロは出ないよ。それと後半の“al-le Men-schen,”(830)、誰だ!ソリストになったのは?…いつもの練習じゃそんな間違いは聞こえてこないからどうせキセル練習団員なんだろう! 以前も指摘したんだが、「♪ヤ〜ベル アウフ…」は「♪ヤ〜ベル アウホ…」。「♪ヘぇルツム…」は「ヘルト ツゥム」。漫然と楽譜を見ないように!!(砂糖大根農家)
♠三ツ橋先生の御指導、すばらしかったです。あと1ケ月、本番に向けて頑張ります。(KY)

●編集後記

次回は**11**月**14**日(土)18:30〜21:00

三ツ橋先生の指導の内容を掲載できました。3日3晩プラス早朝作業となりましたが、あとは面倒くさがらずに…みなさんの楽譜にそれぞれ分かるように書き写して、これからの練習に活かしてください。【munenori@horita.jp】